

(株)JTB と再エネの普及啓発及び循環型社会の推進に向けて 連携協定を締結しました



～連携第1弾 那須塩原市産ぶどう果皮を再利用したクラフトビール醸造体験イベントを開催します～

横浜市は、2050年までの脱炭素化の実現に向けて再生可能エネルギー(以下、「再エネ」という。)の普及拡大に取り組んでおり、再エネ資源を豊富に有する22の自治体と連携協定を締結しています。

このたび、連携自治体との取組の促進、再エネの普及啓発や循環型社会の推進に向け、株式会社JTBと連携協定を締結しました。

連携に基づく取組みの第一弾として、連携自治体である那須塩原市のぶどうの果皮を再利用したクラフトビール醸造体験イベントの参加者を募集します。

事業概要

横浜市では、市内における再エネの普及拡大を推進しており、再エネ資源を豊富に有する自治体と再エネに関する連携協定を締結しています。これまで、民間事業者と協力し、連携自治体の発電所由来の再エネを活用した電力メニューの市内企業への供給や、連携自治体の地域活性化に資する取組などを進めてきました。

このたび、横浜市と株式会社JTBは、横浜市が進める「再生可能エネルギーの普及拡大に係る連携協定」の取組の促進及び再エネの普及、循環型社会の推進を目的として、令和8年7月に連携協定を締結しました。

協定に基づき、JTBが展開する、「消費を地球への贈り物へ」をコンセプトに掲げる事業「Earth Gift」のコンテンツとして、クラフトビール醸造体験イベントを開催します。このクラフトビールには、連携自治体である那須塩原市産ぶどうを使用したワインの製造過程で生じる果皮を再利用します。

また、イベントの中では、醸造所で使用している電力の太陽光発電設備も見学します。楽しみながら地球にやさしいものづくりに触れられる本イベントを通じて、市民の方に再エネや資源循環について知っていただく機会を提供します。

「アップサイクルクラフトビール(仮称)」醸造体験イベント【参加者募集】

クラフトビール醸造体験イベントの参加者を募集します。参加費用等の詳細については、JTBのイベントページをご確認ください。

【日 時】令和8年11月6日(金) 10時30分～13時00分

【会 場】ゆめが丘ソラトス1F ゆめが丘サンデーブルーイング
(〒245-0019 横浜市泉区ゆめが丘 31)

【対 象】横浜市民 ※申込の代表者が横浜在住・在学・在勤であること

【定 員】先着 20 名

【申込方法】JTB のイベントページ内にある応募フォームからお申し込みください。

<https://earthgift.jp/event/20261106>

【申込期間】令和8年10月3日(土)14時～ 10月26日(月)14時

イベントページは
こちら！



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



アップサイクルクラフトビール(仮称)について

那須塩原市・石井ぶどうさんからご提供いただいた、ワイン製造の際に残った果皮をビールに漬け込み、風味付けをします。麦の旨味にホップのさわやかな苦みと香り、ぶどうのやさしい風味が広がる一杯です。泉区産の生ホップと小麦を原材料の一部に使用しビール醸造を行います。この小麦は、ビール醸造後に排出される麦芽粕を堆肥として活用した畑で育成されており、アップサイクルな取組の中で生産されています。

ゆめが丘サンデーブルーイング(クラフトビール醸造場)

泉区に位置する商業施設“ゆめが丘ソラトス”内に令和6年にオープンしたクラフトビール醸造場。地域産素材にこだわっており、近隣の社会福祉法人が栽培する麦やホップを一部使用したビールなど、地域社会と連携したクラフトビール醸造を行っている。



ゆめが丘サンデーブルーイング

石井ぶどう(原料提供農家)

那須塩原市板室で、わずか600本の苗木から始まった、小さなぶどう農家。地域の誇れるワインを作るため、耕作放棄地を利用しゼロからのスタートでワイン用のぶどうを栽培しており、同市内のワイナリー・Y's Vineyards(ワイズ・ヴィンヤーズ)で委託醸造しているワインの自社販売も行っている。



石井ぶどう

ゆめが丘ソラトス(会場)

泉区に位置する商業施設。屋上には約3,000枚の太陽光パネルが設置され、自家発電した再生電力を施設の店舗区画や共用部に供給しており、その一部はサンデーブルーイングにも提供されている。



ゆめが丘ソラトス

醸造イベントの取材について

取材をご希望の方は、①会社名、②取材者名、③人数、④撮影の種類(動画、静止画等)を、10月30日(金)17時までに下記連絡先までご連絡ください。

【連絡先】脱炭素・GREEN×EXPO 推進局循環型社会推進課

Email: da-saiene@city.yokohama.lg.jp

TEL: 045-671-4155

(参考)Earth Gift

株式会社 JTB が展開する、「消費を地球への贈り物に変える」をコンセプトに掲げる事業。自然や地域をより良い状態へ育てるものづくりを広め、体験、発信、物販などを通じて、個人や企業が環境再生につながる取組に関わるきっかけをつくり、環境課題の解決につながる選択肢を広げることを目指している。

現在、全国 50 を超える事業者と連携。



より詳しい Earth Gift の情報はこちら→
<https://www.instagram.com/earthgift/>



次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(参考)連携先 株式会社 JTB



感動のそばに、いつも。

JTB は、1912 年の創立以来、交流の価値を起点に、社会とともに事業を進化させてきた企業グループです。114 年にわたり、ツーリズムを基盤に培ってきた洞察力和専門性を強みに、個人旅行や法人・教育、地域ソリューションに加え、Meetings & Events、Business Travel、スポーツホスピタリティなど多様な領域へ事業を拡張し、人・地域・企業・社会へ向けソリューションを展開しています。

より詳しい JTB の情報はこちら→

<https://www.jtbcorp.jp/jp/>



(参考)再エネに関する連携協定

横浜市の再エネの創出ポテンシャルは 2050 年の市内の電力消費量の約 10%と試算され、再エネへ転換するためには、市域外からの供給が必要不可欠です。2050 年までの脱炭素社会の実現に向け、再エネ資源を豊富に有する 22 市町村(※)と、再エネの創出・導入・利用拡大、相互の地域活力の創出等の分野において連携協定を締結しています。

※22市町村:青森県横浜町

岩手県盛岡市、久慈市、二戸市、葛巻町、岩手町、普代村、軽米町、野田村、

九戸村、洋野町、一戸町

秋田県湯沢市、八峰町、大湯村、

福島県会津若松市、郡山市、いわき市、浪江町

茨城県神栖市

栃木県那須塩原市

大分県日出町



お問合せ先

(再生可能エネルギーに関する連携協定に関すること)

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局循環型社会推進課長 松下 Tel:045-671-2636

(Earth Gift、イベントの申込に関すること)

Earth Gift 運営事務局(株式会社 JTB 企画開発プロデュースセンター内) E-mail:earthgift@jtb.com



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

